

今月の一笑

6月の誕生会

♪ハッピーバースデー梅雨(つゆ)

(千葉市・メッセ貝こと石井志津夫)

悪い知らせ

ジョークの会の会場として、或いは皆様からの郵便物の送付先として利用してきました同巢会サロンが閉鎖となります。2年間利用させて頂き、多数の方に参加して貰いジョークの輪が広がりました。改めて感謝申し上げます。神田小川町という地の利が良い所にサロンはありましたが、2年目の契約更改に際して同巢会発起人の方々が協議しました結果、サロンの閉鎖が決定しました。会に集う方が各々に別れて活動することになりました。

良い知らせ
その1

新しく同巢会ジョークサロン(略称ジョークサロン)が発足しました。現在毎月第4金曜日に集うジョーク愛好家を中心とする新しい会が発足し、今後も機関誌『伝笑鳩』を継続して発行していくことになりました。例会は従来同様毎月第4金曜日に開催することとします。会場はなんだかんだと協議の結果、やはり神田周辺が便利であると考え、公共施設或いは貸会議室やその他を検討中です。

良い知らせ
その2

今後の連絡窓口及び郵便物受付窓口が決定しました。
『伝笑鳩』変集鳥の野本浩一氏の自宅とさせていただきます。
窓口 〒154 東京都世田谷区駒沢1-22-24 F302
☎ (03) 3424-5927
皆様の最新作をどんどん送って下さい。お待ち申し上げます。

良い知らせ
その3

先月笑介しました今田景通さんの「この世は はい に始まり ハイ に終わる」が6月1日付日経新聞『春秋』で取り上げられました。知人・友人から電話がかかり応対に明け暮れたという話も来ました。何より、普段冗談ばかり言っただけで白い目で見られていた奥さんから尊敬の眼差しで見られましたというお便りは胸を打つものがありました。今後も頑張ってください。

良い知らせ
その4

今月の一笑は3月から例会に参加しました石井志津夫さんの作品で、朝日新聞の『千葉笑い』に掲載されたものです。今回が2回目ということですが、ふと会社の女性の誕生日に思いついて早速投稿した所、採用されたそうです。ふと思いつくまでには相応の努力があったのですが、激戦地の千葉で採用されたのはお見事です。新聞・雑誌の笑コーナーにはどんどん投稿して腕を磨きましょう。

作品募集のお知らせ

ジョークサロンでは皆さんの作品を募集しています。1頁記載の窓口までお送り下さい。

京都市／広川友雄さんの1行ジョークです。

- ◇先日購入の乾燥機は如何ですか。感想聞かせて下さい。
- ♡オーボエの演奏は出来るようになりましたか。すぐオーボエました。
- ◇ハワイの住民は虫歯が少ない。どうして？ 歯はいい。
- ♡9時からのテレビ放送の映画をビデオに録画してくれ。洋画す。

『サラリーマンことわざ笑辞典(26)～(28)』（作：曾田英夫）傑作選

- 入社して極楽仕事して地獄（聞いて極楽見て地獄）
- 平社員部長の威をかる（キツネトラの威をかる）
- 窮屈は通勤電車（窮すれば通ず）▷苦しい思いで働きに出ること。
- 退職は他人のはじめ（兄弟は他人のはじめ）▷退職していった人は他人となる。
- ノルマ果たさず月給とる（経読まずに布施とる）▷これが本当の給料泥棒。

() 内がもともとのことわざです。サラリーマンの世界はチェックが厳しいですね。

『如是我聞』（平成3年5月24日 神山南朝作）

- ★★★さる工場の現場で、整理整頓を徹底すべく工場敷地を一坪単位に線引きした上で担当者を決め、担当区域は責任を持って貰うことにして、苦心の末この運動を「一坪我が家運動」と名付けた所、前より汚くなってしまったそうです。
- ★★ Sさんは長いこと不眠に悩まされていましたが、最近は顔色も良く快活な様子なのでどうしたのかと聞いてみたら
「睡眠を誘うとても良いテープが手に入ったのだ」
どんなテープかと重ねて聞くと
「内緒だよ、絶対人に言ってもらったら困るよ」と念押しして小さな声で
「実は、この間の式典の社長挨拶のテープ」
- ★★ C君は最近同じ職場のA子さんに熱くなっているとの噂ですが、ついぞデートしたと言うことは聞いておりません。皆は
「あれは、小錦を乗せた籠かきだ」と言っております。
肩重い（片想い）だって。

小錦だけに相当重そうですね、この片想いは。

エッセイ風のお便りでも構いません、どんどん送って下さい。

例会の常連の平田レイ子さんは日常生活の中でさり気なく交わされる会話に、得意の絵をつけて作品に仕上げています。

例会では参加者にコピーを渡しています。

ほのぼのとした感じの漫画にとぼけた言葉が合っているような気がします。

「10年フケテマス」と最後に言ったのが平田レイ子さんだそうです。

4月の例会に参加できなかった時、郵送されて来た作品です。

トイレの話題だけにこれが本当のスイセン作品という次第です。

平田さんはNHKの池上彰アナウンサー（関東地方の方にはNC 845 等でお馴染み）の大ファンで、同アナが時折発する洒落を楽しみにしているとか。

実はその池上さんにも『伝笑鳩』は飛んでいます。お便りが届き皆様に宜しくとのこと。見ましょう。



男の“やきもちやき”論 by 石井志津夫

嫉妬(やきもちやき)という漢字は二つとも女偏がつく。だから「嫉妬は女の専売特許だ」などと言われるが、本当にそうだろうか。(それしとットヤ)

私の見たところ、男もどうしてどうしてなかなか嫉妬精神が旺盛である。

なるほど“嫉妬”という漢字は女偏で成り立っているかもしれないが、“やきもち”という言葉の語源は男から来ているようだ。

むかし、何人かの男に思いをかけられた女が、どの男を選んでいいか分からなくなったとき火の上に餅を一つ置き、その周辺に男の数だけ餅を置いて占った。

中央の餅が彼女自身であり、周囲の餅は焼く前からこれは吾作、これは又兵衛、これは捨松これは竜太と決めてある。やがて餅が膨らんで中央の餅と周囲のどれかごとくつつく。そのくつついた餅に該当する男を彼女は背の君として選んだ。ところが、最初の餅がくつついたというのに、あとから膨らんで盛んに女の餅とくつつこうとする餅がいる。これはその男がすでに決まった二人の結びつきに嫉妬を感じているからだと解釈され、このことから“やきもちをやく”という言葉が生まれたといわれているようだ。

石井さんの学術的論文は説得力がありますね。今後が楽しみです。

5月24日例会報告。

石井志津夫・小田明子・神山徹・曾田英夫・野本浩一・平田レイ子・山田ちづ子・横山朝夫以上8名が参加しました。

やはり女性が多いと笑いにも花が咲くのでしょうか、普段の倍も笑ったような気がします。苦心して作成した作品も反応が大きいので作りがいがありますね、という声がありました。

次回は7月26日開催。会場は内神田社会教育会館の予定ですが、変更を余儀無くされる場合も在りますので参加希望の方は、事前に変集鳥まで郵便又は電話にてご確認下さい。

尚、同館には定期的な利用が可能となるよう書類申請を行いました。神田周辺で利用可能な会場に関する情報をお持ちの方は、変集鳥まで是非ご一報下さい。

内神田社会教育会館 住所：〒101 千代田区内神田2-1-8

電話：(03)3256-8447

は、地下鉄大手町駅から徒歩7~8分という所です。

同巢会から 7月14日(日)で同巢会サロンの使用は終わります。2年間の活動に一応ピリオドを打つことになりました。

ウクレレ・ゲーム・ジョーク等々のサロンは各担当者が新たに会場を確保した上で継続となります。今後は各地に散らばっていくことになると思いますが、サロンが続きますことをお祈り申し上げます。では、又いつかお会いできますように・・・。

伝笑鳩No.21

発行 1991.6.28

変集鳥 野本浩一

変集協力 曾田英夫

神山徹

豊田洋代

発行所 同巢会